

授 業 科 目	装具学Ⅲ（下肢装具・靴型装具）		
教 育 内 容	専門分野	基礎義肢装具学	
担 当 教 員	中村喜彦、星野元訓、丸山貴之、野原耕平		
学 年	2	単 位 数	6
開 講 時 期	前期（木曜日 1-4 限） 後期（火曜日 1-4 限）	時 間 数	講義 60 時間，実習 180 時間

■ 授業概要

本科目は、「下肢装具」「靴型装具」の2プロジェクトより構成され、それぞれの補装具の疾患に対する適合理論、製作技術を習得する。

< 下肢装具 >

第1回から第100回までで行う。「継手付きプラスチック短下肢装具」、「両側支柱付き長下肢装具」、「UCBL Shoe Insert」、「PTB 免荷装具（免荷十分型）」、「坐骨支持長下肢装具（免荷不十分型）」について、その使用目的、製作方法、適合の知識と必要な基本的技術を教授する。また講義を通して、対象疾患と装具に求められる機能・使用目的を理解し、同時に立位・歩行における装具の効果について習得する。CN 課程とのコラボにより現役看護師が脳卒中片麻痺患者を模し、短下肢装具製作・適合の模擬体験実習を行う。

< 靴型装具 >

第101回から125回までで行う。靴型装具の基本的な製作方法の習得と、適応疾患に応じた靴型装具の製作方法・補正について理解を深める。

実習では採型・採寸からチェックシューズ製作、仮合わせまでを行う。講義では、靴型装具の基本構造および採型・採寸法等、製作方法や、糖尿病足病変と靴型装具についての講義を行う。

■ 到達目標

< 下肢装具 >

- 1) 下肢装具の採型、製作方法、適合について理解し実践できる。不適合の原因を理解し対処できる
- 2) 各疾患のパスメカニクスや特徴的な立位・歩行・身体的アライメントを理解し、装具の使用目的と効果を説明できる

< 靴型装具 >

- 1) 靴型装具の基本構造と基本的な製作方法について理解し、条件どおり製作できる。
- 2) 靴型装具を必要とする疾患・障害に適応した補正について説明できる。

■ 授業内容

第 1,2 回	継手付き プラスチック 短下肢装具	【講義】「歩行における継手の効果」	中村 喜彦 野原 耕平
第 3-18 回		【実習】採型、モデル修正、プラスチック成型、仮合せ準備、仮合せ、適合修正、仕上げ、評価	
第 19,20 回		【講義】「PAFO 足継手の機能」	
第 21,22 回	両側支柱付き 長下肢装具	【講義】「長下肢装具の適応と機能」	野原 耕平 中村 喜彦
第 23-28 回		【実習】採寸・トレース、AFO レイアウト、AFO 製作	
第 29 回		【演習】疾患セミナー 1、2	
第 30-32 回		【実習】KAFO レイアウト、支柱曲げ加工	
第 33 回		【演習】疾患セミナー 3、4	
第 34-36 回		【実習】支柱曲げ加工、半月曲げ加工	

第 37 回	両側支柱付き 長下肢装具	【演習】疾患セミナー 5、6	野原 耕平 中村 喜彦
第 38-40 回		【実習】半月曲げ加工、組立て	
第 41 回		【演習】疾患セミナー 7、8	
第 42-44 回		【実習】仮合せ、修正	
第 45 回		【演習】疾患セミナー 9、10	
第 46-50 回		【実習】修正、仕上げ、適合評価	
第 51,52 回		【講義】装具膝継手の種類と特徴	
第 53,54 回	UCBL	【講義】「UCBL Shoe Insert の理論」、「外反扁平足と装具」	星野 元訓 中村 喜彦
第 55,56 回	Shoe Insert	【実習】採型・修正・プラスチック成型、適合評価 (Demo)	
第 57,58 回	PTB 免荷装具	【講義】「免荷装具の理論」	
第 59-64 回		【実習】採型、モデル修正、プラスチック切出し、 プラスチック成型、支柱曲げ加工、	
第 65,66 回		【演習】継手レポート発表	
第 67-72 回		【実習】あぶみ曲げ加工、仮合せ準備、仮合わせ、 修正、評価	
第 73-80 回	【実習】CN 課程コラボ企画 AFO 製作		
第 81-84 回	坐骨支持 免荷装具	【講義】「坐骨支持免荷装具の理論」 【実習】採型・モデル修正	中村 喜彦 星野 元訓
第 85-88 回		【実習】プラスチック成型、金属曲げ加工、仮合せ	
第 89-100 回	疾患と装具	【講義】各疾患と装具について (全 12 回) (CVD,SB,SCI,CP,DDH,CF,DMD,OA ほか)	
第 101,102 回	靴型装具	【講義】「靴型装具 概論」、「靴型装具の採寸・採型」	丸山 貴之 野原 耕平
第 103-120 回		【実習】採寸・採型、靴型作成、修正、靴型修正、底型設計、 靴インサート製作、チェックシューズ成形、底付け	
第 121-124 回		【講義】「糖尿病足病変と靴型装具」「靴型装具の適合」	
第 125 回		【実習】適合チェック	

■ 評価方法

2つのプロジェクトの総合評価とし、配分は次の通りとする。

下肢装具 80%、靴型装具 20%

各プロジェクトにおける評価配分は次の通りとする。

<下肢装具>

小テスト 10%、疾患セミナー 10%、足継手セミナー 5%、中間試験 20%、期末試験 20%、実習 35%、

<靴型装具>

期末試験 50%、実習 50%

■ 教科書

装具学 第4版, 医歯薬出版

義肢装具のチェックポイント 第9版, 医学書院

新編 装具治療マニュアル, 医歯薬出版

■ 留意事項

< 下肢装具 >

疾患セミナーと足継手セミナーでは課題を学生一人につき一題ずつ与える。小テストは随時行う。

< 担当教員の実務経験 >

星野元訓：本学院義肢装具学科の専任教員として 21 年間勤務。

中村喜彦：義肢装具製作施設にて義肢装具士として臨床業務に 5 年間従事。本学院義肢装具学科の専任教員として 14 年間勤務。

丸山貴之：義肢装具製作施設にて義肢装具士として臨床業務に 5 年間従事。本学院義肢装具学科の専任教員として 14 年間勤務。

野原耕平：義肢装具製作施設にて義肢装具士として臨床業務に 7 年間従事。本学院義肢装具学科の専任教員として 8 年間勤務。